

授業科目 NO. 606 多職種連携論

Interprofessional Work

授業の形態：講義
単位数（時間数）：1単位（15時間）
開講年次・学期：3年次・後期
必修・選択の別：必修
キーワード：多職種連携、協働、専門性と意義

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

多様な価値観をもち、様々な環境にある人々が安心して健康に生活することを支える看護職としての基礎力を修得することを目標に、多職種連携の必要性、目的と意義、方法を理解する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 多職種連携の必要性、目的と意義を説明できる。(①②③)。
- (2) 保健・医療・福祉に携わる多職種の役割と専門性を説明できる。(①②③)
- (3) 多職種連携における看護職の役割と専門性を説明できる。(①②③)
- (4) 患者・家族を中心とした多職種連携の方法を説明できる。(①②③)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	40%
グループワーク成果物と発表（2回分）	40%
小テスト	%
その他（GWに必要な補足学習）	20%
合計	100%

（特記事項）GWの前に補足学習の課題を出し、その内容を評価する。

プレゼンテーションは、GWの成果物をジグソー式に発表することで評価する。

5 教育担当者

科目責任者：吉川 由希子

教 授	吉川 由希子（小児看護学）
教 授	村角 直子（成人看護学）
准 教 授	橋本 智江（老年看護学）
准 教 授	寺西 敬子（公衆衛生看護学）
准 教 授	大江 真人（精神看護学）
准 教 授	蘭 直美（在宅看護学）
講 師	三反崎 宏美（母性看護学）
助 教	西川 正志（医学教育学）

非常勤講師	三輪 早苗（金城大学人間社会科学部社会福祉科：講師）
非常勤講師	小浦 友行（ごちやまるクリニック：医師）
非常勤講師	萩原 四季（ごちやまるクリニック：看護師）
非常勤講師	浦 征爾（ごちやまるクリニック：看護師）

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、看護師・保健師・助産師・医師・理学療法士のいずれかの実務経験を全員が有している。

7 教科書

指定しない。

8 推薦参考書

指定しない。

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 1 コマにつき、事前・事後学修として計 90 分程度必要です。
- 2) 理学療法士、作業療法士、介護福祉士などの医療や福祉にかかわる職種にはどのようなものがあるのか、調べて臨んでください。
- 3) これまでの実習ではどのような多職種連携がなされていたか復習して臨んでください。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

レポートについては担当教員のコメントを取りまとめたものを掲示します。

11 履修上の注意事項

- 1) グループワークを行うので、グループごとに計画的に事前準備を行い、各自責任をもって授業に参加してください。

12 オフィスアワー等

質問等がある場合は、e-mail で事前に約束してから、研究室にお越しください。

吉川 由希子：y-yukiko@kanazawa-med.ac.jp

村角 直子：murakado@kanazawa-med.ac.jp

橋本 智江：hashimo@kanazawa-med.ac.jp

大江 真人：oemasato@kanazawa-med.ac.jp

寺西 敬子：k-tera@kanazawa-med.ac.jp

蘭 直美：ran@kanazawa-med.ac.jp

三反崎宏美：mitasaki@kanazawa-med.ac.jp

多職種連携論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1(0.5)	11月10日(月)	3	講義	ガイダンス, 多職種連携の背景・目的・意義		小児看護学	吉川教授
後	2	11月10日(月)	4	講義	地域で疾患を持ちながら生活する人を支える多職種連携: コメディカルの職種の立場から	グループワーク、レポート	医学教育学	三輪非常勤講師, 西川助教
後	3	11月14日(金)	3	講義	地域で疾患を持ちながら生活する人を支える多職種連携	グループワーク	公衆衛生看護学、小児看護学、成人看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護学、医学教育学	寺西准教授, 小浦非常勤講師, 萩原非常勤講師, 浦非常勤講師, 吉川教授, 村角教授, 橋本准教授, 大江准教授, 蘭准教授, 三反崎講師, 西川助教
後	4	11月14日(金)	4	演習	地域で疾患を持ちながら生活する人を支える多職種連携	グループワーク、レポート	公衆衛生看護学、小児看護学、成人看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護学、医学教育学	寺西准教授, 小浦非常勤講師, 萩原非常勤講師, 浦非常勤講師, 吉川教授, 村角教授, 橋本准教授, 大江准教授, 蘭准教授, 三反崎講師, 西川助教
後	5	11月17日(月)	3	講義	事例検討	グループワーク	小児看護学、成人看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学、医学教育学	吉川教授, 村角教授, 橋本准教授, 大江准教授, 寺西准教授, 蘭准教授, 三反崎講師, 西川助教
後	6	11月17日(月)	4	講義	事例検討	グループワーク・成果物の発表	小児看護学、成人看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学、医学教育学	吉川教授, 村角教授, 橋本准教授, 大江准教授, 寺西准教授, 蘭准教授, 三反崎講師, 西川助教
後	7	11月21日(金)	3	講義	事例検討	グループワーク	小児看護学、成人看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学、医学教育学	吉川教授, 村角教授, 橋本准教授, 大江准教授, 寺西准教授, 蘭准教授, 三反崎講師, 西川助教
後	8	11月21日(金)	4	講義	事例検討	グループワーク・成果物の発表	小児看護学、成人看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学、医学教育学	吉川教授, 村角教授, 橋本准教授, 大江准教授, 寺西准教授, 蘭准教授, 三反崎講師, 西川助教